憲法審査会レポート

2026-11-13
No. 82
編集：平和フォーラム

2026年11月12日（木）第222回国会（臨時会）第4回　衆議院憲法審査会

【アーカイブ動画】

https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=56521
※「はじめから再生」をクリックしてください

【マスコミ報道から】

衆議院憲法審査会 憲法9条と自衛隊位置づけ 集中的に討議
https://news.web.nhk/newsweb/na/nd-20261112de74680

自民・維新が憲法9条改正の必要性を主張　衆議院・憲法審査会で集中討議
https://news.tv-asahi.co.jp/news_politics/articles/000547310.html

憲法9条と自衛隊の位置づけ集中討議　自民は自衛隊の明記、維新は国防軍創設を訴え 衆院憲法審査会
https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/3080172

自民は自衛隊明記、維新は国防軍　衆院憲法審、９条巡り集中討議
https://www.jiji.com/jc/article?k=2026111200095&g=pol

衆院憲法審、9条を討議　自民「国防規定が欠落」
https://www.47news.jp/15219028.html

「9条と自衛隊」与党内でも食い違う見解　衆院憲法審で集中討議
https://www.asahi.com/articles/ASVCD3F1MVCDUTFK00DM.html

維新が専守防衛「言葉としては消える」と言及　衆院憲法審 自民は明確に述べず…野党「与党は統一見解を」
https://www.tokyo-np.co.jp/article/527727

【傍聴者の感想】

今回は憲法第9条と自衛隊についての集中討議でした。憲法「改正」といわれる内実は、憲法9条のあり方が焦点と言っても過言ではないでしょう。

自民党は、ポツダム宣言受諾による武装解除、東西冷戦や朝鮮戦争に伴い警察予備隊を創設し、湾岸戦争やPKO派遣などの過程を説明し、「未完成の憲法」に国防規定を設けるべきだと主張しました。

維新の会は、核保有国である中国、朝鮮、ロシアの脅威や領域侵犯など、日本を取り巻く環境は分岐点に置かれているとして、存立危機に対処し最小限の武力行使が認められるべきだと述べました。

国民民主党は、自民・維新の改憲後の安全保障の姿に差異があるとして、次回審査会での詳細な説明を求めました。また、2025年7月の参院選の「1票の格差」訴訟の上告審判決で、最高裁大法廷が11日、「違憲状態」の統一判断を示したことを受けて、合区解消を議論するよう訴えました。

参政党は、党是である「創憲」を主張し、自衛軍の明記が必要だと主張しました。

チームみらいは平和主義と非核三原則の堅持を、日本共産党は過去の侵略戦争と植民地支配を反省し戦争の放棄を誓った憲法に即して外交努力で地域の緊張を緩和すべきだと述べました。

今年2月の衆院選で与党が圧勝し、委員の多くも自民、維新が多いからか全体として改憲ありきの議論に見えました。改憲派の意見に縛られ、議論を深めないまま改憲発議へと向かってしまわないか憂慮しています。

改憲派は、「平和主義を堅持し、必要最小限の武力行使にとどめる」としています。しかし、戦争の火蓋が切られてしまえば相手国の反撃もあり得る中で、どこまでを「必要最小限」とみなせるのか。全面戦争へ発展したとき人的・物的被害が出たにもかかわらず、「平和主義を堅持」していると強弁するのでしょうか。

戦前回帰ともいうべき政策が相次ぐ状況を、「新型軍国主義」と批判されても仕方ないのではないでしょうか。国内世論、そして諸外国の意見にも耳を傾け、拙速な改憲議論が必要かどうか再考すべきです。

「いのちを見つめ 平和をつなぐ、憲法理念の実現を求める全国署名」にご協力ください！



一人ひとりの人権が尊重され、立憲主義に基づく市民が主役となる社会、すべての国の人々がお互いを尊重し合い、戦争を放棄する国際社会の実現のために、「いのちを見つめ 平和をつなぐ、憲法理念の実現を求める全国署名」に参加して声を上げましょう。

詳しくは→ https://www.peace-forum.com/info/kenpourinen-shomei.html
オンライン署名→ https://change.org/kenpourinenshomei